



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年1月31日

上場会社名 株式会社鶴弥 上場取引所 東・名
 コード番号 5386 URL <https://www.try110.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鶴見 哲
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 満田 勝己 (TEL) 0569-29-7311
 四半期報告書提出予定日 2024年2月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の業績 (2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	4,894	△8.8	194	—	294	—	196	—
2023年3月期第3四半期	5,366	△6.8	△127	—	△46	—	△45	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年3月期第3四半期	25.68		—					
2023年3月期第3四半期	△5.98		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	15,774	11,897	75.4
2023年3月期	15,436	11,596	75.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 11,897百万円 2023年3月期 11,596百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
2024年3月期	—	3.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	2.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,070	△1.0	95	—	190	—	120	—	15.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期3Q	7,767,800株	2023年3月期	7,767,800株
2024年3月期3Q	112,916株	2023年3月期	112,916株
2024年3月期3Q	7,654,884株	2023年3月期3Q	7,654,884株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、2023年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し対策の緩和が進む中、社会生活は正常化に向かいつつあります。その一方で世界情勢不安による資源・エネルギー及び原材料価格の高騰、世界的な金融引き締めと円安進行、物価上昇や実質賃金の減少等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

また、当業界におきましては、当社の業績に影響する持家着工戸数が前年同四半期比で約10%減少し、その中でも高価格帯の注文住宅の需要減退が大きく、他素材と比較して高付加価値な屋根材である粘土瓦にとっては引き続き厳しい状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社では、2023年4月より製品価格の改定を実施し、適正取引価格の浸透を図る一方、新商品やアップサイクル型粘土瓦の発売に注力をしてまいりました。また顧客の多様なニーズに対応すべく、2024年1月より元旦ビューティ工業株式会社が立ち上げたフランチャイズ組織である元旦リーフメンバーズへ加盟し、引き続き屋根周辺副資材や金属屋根材等の商品の取り扱いを拡充してまいります。

売上高につきましては、前述の持家着工戸数の減少の影響から前年同四半期比8.8%減の4,894百万円となりました。

一方、損益面につきましては、前述の各物価上昇の影響から、前年同四半期比で原材料をはじめとして、鋼材や木材、石油製品、運送等の費用増が幅広くコストを押し上げましたが、販売量に応じた柔軟な生産対応を行うことで、人員の適正配置やエネルギー利用の最適化といった生産性向上に引き続き取り組み、製造原価の抑制に努めました。

この結果、当第3四半期累計期間における売上原価率は、前年同四半期比5.9ポイント減の72.9%となり、売上総利益は前年同四半期比16.3%増の1,325百万円となりました。

販売費及び一般管理費におきましては、継続的なコスト削減を行い、前年同四半期比10.8%減の1,131百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高4,894百万円（前年同四半期比8.8%減）、営業利益194百万円（前年同四半期営業損失127百万円）、経常利益294百万円（前年同四半期経常損失46百万円）、四半期純利益196百万円（前年同四半期純損失45百万円）の減収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の資産につきましては、受取手形及び売掛金の減少348百万円（前事業年度末比20.5%減）がありましたが、現金及び預金の増加404百万円（前事業年度末比34.2%増）等により、15,774百万円（前事業年度末比2.2%増）となりました。

負債につきましては、電子記録債務の増加143百万円（前事業年度末比18.8%増）等により3,877百万円（前事業年度末比1.0%増）となりました。

純資産につきましては、利益剰余金の増加158百万円（前事業年度末比2.5%増）等により11,897百万円（前事業年度末比2.6%増）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べて404百万円増加し、1,575百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は、590百万円となりました（前年同四半期累計期間に比べ416百万円の増加）。

営業活動による資金の増加要因としては、主に税引前四半期純利益294百万円、減価償却費155百万円及び売上債権の減少額348百万円によるものです。

一方、営業活動による資金の減少要因としては、主に賞与引当金の減少額63百万円及び棚卸資産の増加額257百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は、147百万円となりました（前年同四半期累計期間に比べ35百万円の減少）。
投資活動による資金の減少要因としては、固定資産の取得による支出149百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は、38百万円となりました（前年同四半期累計期間に比べ17百万円の減少）。
財務活動による資金の減少要因としては、配当金の支払額38百万円によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年10月31日に公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。

なお、2024年1月1日に発生いたしました令和6年能登半島地震につきまして、幸いなことに北陸支店（富山県小矢部市）の被害はほぼ無く、降雪やライフライン復旧状況により復興・復旧工事の本格化は来期以降と見込まれるため、今期の業績に与える影響は軽微であります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,183,585	1,587,937
受取手形及び売掛金	1,697,475	1,349,162
商品及び製品	828,155	1,088,718
仕掛品	54,602	50,067
原材料及び貯蔵品	159,430	161,391
その他	24,466	15,377
貸倒引当金	△10,408	△10,187
流動資産合計	3,937,306	4,242,468
固定資産		
有形固定資産		
土地	9,106,384	9,106,384
その他(純額)	1,540,329	1,458,911
有形固定資産合計	10,646,714	10,565,296
無形固定資産	28,472	32,897
投資その他の資産	823,951	934,028
固定資産合計	11,499,139	11,532,222
資産合計	15,436,445	15,774,690

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	349,775	252,514
電子記録債務	761,851	905,057
短期借入金	1,500,000	1,500,000
未払法人税等	25,878	38,767
賞与引当金	134,678	71,248
その他	469,081	481,999
流動負債合計	3,241,263	3,249,587
固定負債		
退職給付引当金	205,565	201,065
役員退職慰労引当金	305,779	306,520
その他	87,432	119,890
固定負債合計	598,777	627,475
負債合計	3,840,041	3,877,063
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,144,134	2,144,134
資本剰余金	2,967,191	2,967,191
利益剰余金	6,299,801	6,458,133
自己株式	△53,434	△53,434
株主資本合計	11,357,692	11,516,024
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	238,711	381,602
評価・換算差額等合計	238,711	381,602
純資産合計	11,596,404	11,897,626
負債純資産合計	15,436,445	15,774,690

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	5,366,612	4,894,621
売上原価	4,226,423	3,569,084
売上総利益	1,140,188	1,325,537
販売費及び一般管理費	1,267,597	1,131,253
営業利益又は営業損失(△)	△127,408	194,284
営業外収益		
受取利息	11	8
受取配当金	17,851	18,578
受取賃貸料	27,763	73,597
助成金収入	24,708	28,368
その他	44,309	18,189
営業外収益合計	114,643	138,741
営業外費用		
支払利息	3,567	3,887
工場休止に伴う諸費用	6,173	12,874
不動産賃貸費用	14,943	14,040
その他	9,269	7,729
営業外費用合計	33,953	38,532
経常利益又は経常損失(△)	△46,718	294,492
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△46,718	294,492
法人税、住民税及び事業税	7,434	30,594
法人税等調整額	△8,349	67,291
法人税等合計	△915	97,886
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△45,802	196,606

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△46,718	294,492
減価償却費	161,524	155,563
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	773	△221
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△72,771	△63,429
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,757	△4,500
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△10,751	741
受取利息及び受取配当金	△17,862	△18,586
支払利息	3,567	3,887
助成金収入	△24,708	△28,368
売上債権の増減額 (△は増加)	178,707	348,312
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△262,823	△257,989
仕入債務の増減額 (△は減少)	195,675	45,363
その他	17,849	80,630
小計	125,220	555,897
利息及び配当金の受取額	17,861	18,586
助成金の受取額	24,708	28,368
利息の支払額	△4,508	△4,700
法人税等の支払額	△5,388	△7,820
その他	16,261	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	174,153	590,330
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△183,926	△149,209
固定資産の売却による収入	1,149	1,460
投資活動によるキャッシュ・フロー	△182,777	△147,749
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△55,492	△38,228
財務活動によるキャッシュ・フロー	△55,492	△38,228
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△64,116	404,352
現金及び現金同等物の期首残高	1,615,180	1,171,585
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,551,064	1,575,937

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)及び当第3四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

当社は、粘土瓦の製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。